

都道府県・指定都市番号		記入者氏名	
都道府県・指定都市名		校種・領域	高等学校・球技(ソフトボール)

1. 指導と指導計画 高等学校 第1学年 15時間 領域 体育 単元 球技(ソフトボール)

時間	ねらい・学習活動	学習活動における具体的評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識理解
導入 2時間	オリエンテーション ○学習の目標を知る ○学習するソフトボールの特性を知る(ビデオ) ○自分達の能力を把握する。(ティーボールを使っての簡易ゲーム) ○学習ノートの記入方法を学ぶ				
展開1 (3時間)	ねらい1 今持っている技能を生かして、簡易ゲームをたのむことができる。 個人技能の練習 ○ゴロ・フライや送球に応じた捕球練習 ○トスバッティング、ティーバッティング ○シートノック ○ベースランニング	①自分の課題解決を図るために、練習に取り組もうとしている。 ②自分の課題解決を図るために、すすんで練習に取り組もうとしている。	①練習やゲームから、自分の課題を見つけている。 ②練習やゲームから、自分の課題解決に向けて、具体的な練習方法を選んでいる。	①スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングの基本的な動作ができる。 ②状況に応じたスローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングの動作ができる。	①ソフトボールの特性について、言ったり、書き出したりしている。 ②ソフトボールの作戦や技能について、具体例を挙げて言ったり、書き出したりしている。
展開2 (4時間)	集団的技術の学習(簡易ゲーム) ○課題の解決を目指して、仲間と協力して練習方法を工夫する。 ○能力や適性に応じて、打順や守備位置を決める。 ○能力や適性に応じて、打順や守備位置を決める。 ○個人的技能と集団的技術の確認ゲームを適宜行う。 ケースノック ゲームノック	②自分の能力に応じた守備位置や打順でゲームを行い、ソフトボールのもつ楽しさや喜びを味わおうとする。 ③自分の能力に応じた守備位置や打順でゲームを行い、ソフトボールのもつ楽しさや喜びを積極的に味わおうとする。 ④チームの課題解決を目指して、仲間と協力したり、教え合ったりして練習に取り組もうとしている。 ⑤チームの課題解決を目指して、仲間と働きかけるなどして、協力したり、積極的に教え合ったり	②自分やチームの能力に応じて、練習で示された物の中から練習の仕方を選んでいる。 ③自分やチームの能力に応じて、練習で示された物の中から具体的な練習の仕方を選んでいる。	②ゲームの中で、状況に応じた攻撃ができる。 ③ゲームの中で、状況に応じて常に安定した攻撃ができる。	②ソフトボールに関する自己の技能やチームの状況について言ったり書き出したりしている。 ③ソフトボールに関する自己の技能やチームの状況について、具体例を挙げて言ったり書き出したりしている。 ④練習の仕方や各ポジションの役割について言ったり書き出したりしている。 ⑤練習の仕方、打順や守備位置の役割について具体例を挙げて、言ったり書き出したりしている。
整理 (6時間)	ねらい2 高まった技能を生かして、ゲームを楽しむことができる。 ○ゲーム(リーグ戦)を行う。 ○試合の結果を受け入れ、次のリーグ戦に向けての練習をする。 ○ゲームのなかで、バントやヒットエンドランなどサインプレーを使い、集団的技術を高める。 ○ルール 審判法を理解し、主審や塁審を努めよめるゲーム ○自己や仲間の努力の成果等を振り返る。	④チームにおける自分の役割を自覚してその責任を果たし、仲間と協力して準備や後片づけなどを行い、また、危険なプレーをしないなど安全に留意してゲームに取り組もうとする。 ⑤チームをリードし、仲間と協力して積極的に準備や後片づけなどを行い、また、周りに働きかけ、安全に留意してゲームに取り組もうとする。 ⑥試合の結果を受け入れようとする。 ⑦試合の結果を分析し、更なる目標に向かって取り組もうとする。	③自分や仲間チームの能力に応じて練習で示された作戦をゲームに生かすことができるよう、工夫している。 ④自分や仲間チームの能力に応じて合理的な作戦をゲームに生かすことができるよう、工夫している。	③ゲームの中で、守備位置に応じた動きができる。 ④ゲームの中で、守備位置に応じた動きが正確にできる。	④試合の運営やルール、審判の方法について言ったり、書き出したりしている。 ⑤試合の運営やルール、審判の方法について具体例を言ったり、書き出したりしている。
()内の方法を手がかりに、例えば次のような観察の様子や記述の内容から「おおむね満足できると判断される」状況かどうかを評価する。	評価方法等	①自分課題解決を図るために、練習に取り組もうとする。 自主練習(学習ノート、行動観察) ②自分の能力に応じた守備位置や打順でゲームを行い、ソフトボールのもつ楽しさや喜びを味わおうとする。 周りへの声かけ、勝敗へのこだわりなど(観察) ③チームの課題解決を目指して、仲間と協力したり、教え合ったりして練習に取り組もうとする。 うまくなったプレーに声をかけなど(観察) ④チームにおける自分の役割を自覚してその責任を果たし、仲間と協力して準備や後片づけなどを行い、また、危険なプレーをしないなど安全に留意してゲームに取り組もうとする。 用具の準備、後片づけ、安全への言動など(観察) ⑤試合の結果を受け入れようとする。 ゲーム中、相手に対してのフェアプレーや、審判の判定に対して尊敬した言動、記述等がある。(観察・学習ノート)	①練習やゲームから、自分の課題を見つけている。 チームや自分の課題などの発言や記述がある等。(観察、学習ノート) ②自分やチームの能力に応じて、練習で示された物の中から練習の仕方を選んでいる等。(学習ノート) ③自分や仲間チームの能力に応じて練習で示された作戦をゲームに生かすことができるよう、工夫している。 今日のゲームで負けた理由をふり返り、次回への課題をとらえ、自分たちのレベルに合った作戦考えるなどの記述がある。(学習ノート)	①スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングの基本的な動作ができる。 簡単なゴロ、フライの処理など。(観察) ②ゲームの中で、状況に応じた攻撃ができる。 安定したバットスイングで球を打つ。自分のランニングスピードを生かしたベースランニングができる。(観察) ③ゲームの中で、守備位置に応じた動きができる等。 打球に応じて中継するための位置に移動している。 送球をカバーできる位置に移動している等。(観察)	①ソフトボールの特性について、言ったり、書き出したりしている。 守備ではポジションの役割、攻撃では打順に応じたバッティング等の記述がある。(学習ノート) ②ソフトボールに関する自己の技能やチームの状況について言ったり書き出したりしている。 バットのヘッドが下がっている。ボールを見ていない。両手で捕球する。(行動観察、学習ノート) ③練習の仕方、打順や守備位置の役割について言ったり書き出したりしている。 配布した資料の内容や各ポジションに関連した練習方法について、記述している等。(学習ノート) ④試合の運営やルール、審判の方法について言ったり、書き出したりしている。 スピーディーな攻守交替や、ゲームの進行、ルールについて記述している。(学習ノート、評価問題)

保健体育科 (球技、ソフトボール) 学習指導案

第1学年 5・6ホーム 男子40名
指導者

1 単元名 球技 (ソフトボール)

2 単元の目標

- (1) チームにおける自分の役割を自覚して行動し、責任を果たし、協力して教え合ったり、助け合ったりしながら、楽しんで練習やゲームができるとともに、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また、活動場所や用具などの安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意しようとする。
- (2) 自分やチームの能力に適した課題を解決するための練習方法を選んだり、技能を生かすための作戦を立てたりすることができる。
- (3) 個人的技能や集団的スキルを使ってゲームができる。
- (4) ソフトボールの技能の構成やそれらを高めるための練習の仕方、試合の運営やルール、審判の方法について理解する。

3 指導に当たって

(1) 運動の特性

ソフトボールは、攻撃側と防御側とに分かれ、攻守を規則的に交替しながら、一定の回数内の得点で勝敗を競い合う運動である。また、打つ (打撃)・捕る (捕球)・投げる (送球)・走る (走塁) などの個人的技能や攻撃や守備の戦術を取り入れた集団的スキルがあり、変化に富んだゲームが展開できるベースボール型のスポーツである。

さらに、ルールや道具を工夫することで、様々なレベルでの競技が可能となり、生涯スポーツとして行うことのできる屋外型のスポーツである。

(2) 指導観

ソフトボールの楽しさや競技スポーツとしての奥深さなどを伝えながらも、基本である、打つ (打撃)・捕る (捕球)・投げる (送球)・走る (走塁) の4つの要素を確実に定着させたいと考えている。特に技能的には個々には差があるため、レベルに応じたアドバイスを必要とする。また、チームとして、お互いが協力したりサポートしていく雰囲気をつくり、教えあったり、励ましあう姿がみられるようにしたい。また、競技方法やルールを身につけ、生涯スポーツとして地域や職場のイベントなどに積極的に運営や参加することのできる生徒を育てたい。

4 評価規準

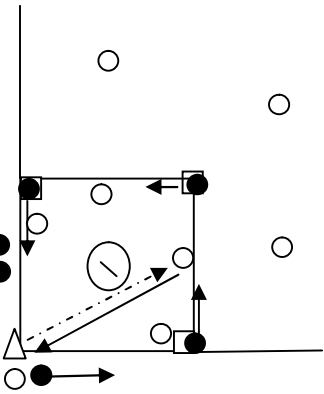
	関心・意欲・態度	思考・判断	技能	知識・理解
内容のまとめりごとの評価規準	<p>球技の特性に関心をもち、楽しさや喜びを味わえるようチームにおける自分の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して進んで練習やゲームに取り組もうとするとともに、勝敗に対して公正な態度をとろうとする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。</p>	<p>チームや自分の能力に応じた課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方やゲームの仕方を工夫している。</p>	<p>チームの課題や自分の能力に応じて、選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。</p>	<p>選択した球技種目の特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判法及び競技会の企画や運営の仕方を理解し、知識を身に付けている。</p>
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 自分の能力に応じた守備位置や打順などでゲームを行ったり、バントなどの戦術を活用したりして、勝敗を競い合う楽しさや喜びを味わおうとする。 チームにおける自分の役割を果たし、協力して準備や後かたづけをしたり、課題解決の仕方や技能の高め方について教え合ったりして練習やゲームをしようとする。 ルールを守り、審判の判定や指示に従い、勝敗や結果を受け入れようとする。 バットの取扱いに気をつけたり、グラウンドや用具などの安全点検をしたりして、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在の自分（自分のチーム）や相手（相手のチーム）の技能の程度などを把握して、その技能の程度に応じた作戦を立てている。 ゲームの中からチームや自分の課題を明らかにし、その課題解決を図ろうとしている。 新たな課題の解決を目指して計画的な練習の仕方を工夫している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分のもっている技能を発揮してゲームを行うことができる。 自分が身に付けた技能をチームのために生かして練習やゲームができる。 自分やチームの能力に適した課題の練習やゲームを通して連係プレーなどの集団的スキルや、送球、捕球、打撃、走塁などができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 攻防を交替しながら得点を競う野球型のゲームの特性や学習の進め方、連携プレーなどの集団的スキルや投・送球や打撃などの個人的な技能の構造、合理的な練習の仕方、練習計画の立て方などについて具体例を挙げて説明している。 試合の運営やルール、審判の方法について、言ったり、書き出したりしている。

<p>学習活動の具体的な評価規準</p>	<p>①自分の課題解決を図るために、練習に取り組もうとする。</p> <p>②自分の能力に応じた守備位置や打順でゲームを行い、ソフトボールのもつ楽しさや喜びを味わおうとする。</p> <p>③チームの課題解決を目指して、仲間と協力したり、教え合ったりして練習に取り組もうとする。</p> <p>④チームにおける自分の役割を自覚してその責任を果たし、仲間と協力して準備や後片づけなどを行い、また、危険なプレーをしないなど安全に留意してゲームに取り組もうとする。</p> <p>⑤試合の結果を受け入れ、公正な態度をとろうとする。</p>	<p>①練習やゲームから、自分の課題を見つけている。</p> <p>②自分やチームの能力に応じて、練習で示されたものの中から練習の仕方を選んでいる。</p> <p>③自分や仲間チームの能力に応じて練習で示された作戦をゲームに生かすことができるよう、工夫している。</p>	<p>①スローイング、キャッチング、バッティング、ベースランニングの基本的な動作ができる。</p> <p>②ゲームの中で、状況に応じた攻撃ができる。</p> <p>③ゲームの中で、守備位置に応じた動きができる。</p>	<p>①ソフトボールの特性について、言ったり書き出したりしている。</p> <p>②ソフトボールについて、自己の技能やチームの状況を把握している。</p> <p>③練習の仕方や各ポジションの役割について言ったり書き出したりしている。</p> <p>④試合の運営やルール、審判の方法について言ったり、書き出したりしている。</p>
----------------------	--	---	---	--

5 本時の目標 (8時間目/15時間)

- (1) チームにおける自分の役割を果たし、練習やゲームをすることができる。
- (2) 自分やチームの能力に応じて、工夫して練習やゲームができる。
- (3) 身につけた技能を様々な場面で活用できる。
- (4) 各ポジションの役割について理解する。

6 展開

段階	学習内容及び学習活動		□教師の支援・※評価規準、評価方法
導入 10分	<ul style="list-style-type: none"> ○体調・状況の報告 ○学習するねらいを理解し、学習の進め方について見通しがもてること ○身体の部位をほぐし、本時の活動で十分力を発揮できること ○これまで学びが定着していること 	<ul style="list-style-type: none"> ○出欠の確認 ○本時のねらいと課題の確認 ○準備運動 ○基本技能の確認 シートノック 	<ul style="list-style-type: none"> □見学者に指示をする。 □今日行う内容や動きについて資料を基に本時の授業の流れを確認する。 □腰、肩の柔軟性を高めることを意識させる。 □内野手は身体の正面でゴロの捕球すること、外野手は打球の落下点に早く移動することを常に意識させる。
展開 30分	満塁の場面を設定し、得点を阻止する守り方について理解しよう。		
	<ul style="list-style-type: none"> ○満塁の場面では次のような動きがある。 ・ノーアウト、ワンアウトの場合 内野ゴロの場合は、得点を与えないため、まずはバックホームに送球し、アウトを取る。 ・ツーアウトの場合 近くの塁を踏むか、送球し近くの塁に送球 ・外野フライの場合 タッチアッププレーとなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ケースノック <ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤモンド2面 4チーム（9～10名） ・満塁の場面を設定し、内野ゴロの場面の動きを練習する。 （●）攻撃側の生徒が走者。 （△）ノッカーは攻撃側のチーム。  <ul style="list-style-type: none"> ◇設定ゲーム <ul style="list-style-type: none"> ・ダイヤモンド2面 4チーム（9～10名） ・ノーアウト満塁の場面から2回の攻撃と守りを行い、得点を競い合う。 	<ul style="list-style-type: none"> □満塁の場合の内野の動きや外野手の動きについて、説明する。 □満塁の場面では、タッチプレーが必要な場合と必要ない場合があることを理解させる。 □ノッカーは、部活動経験者等、状況判断に対応できる生徒にさせる。 □ノーアウト、ワンアウトの場合は、内野手は得点を阻止するために、バックホームに送球するため、定位置より2～3歩前で守備するように指示する。 □ツーアウトの場合は、近くの塁上でアウトを取れば良いことを理解させる。 □アウトがとれなかった場合は、何が悪かったのかを、チームで確認させる。 ※練習の仕方や各ポジションの役割について言ったり書き出したりしている。 －知識・理解－ [観察・学習ノート] □満塁の場面では、点数を与えない動きについて声を掛け合って確認させる。 （とにかく内野ゴロはバックホームなど） □ナイスプレーがあった場合は、賞賛し合うなど声やハイタッチ等をしてチームを盛り上げることを伝える。 ※チームの課題解決を目指して、仲間と協力したり、教え合ったりして練習に取り組もうと

			<p>する。</p> <p>－関心・意欲・態度－〔観察〕</p>
<p>整 理 10 分</p>	<p>○本時に使用した身体部 位をほぐす</p> <p>○本時の学習した内容を 確認する</p>	<p>○整理運動</p> <p>○本時のまとめ</p> <p>○次時の伝達</p> <p>○後片づけ</p> <p>○学習ノート</p>	<p><input type="checkbox"/>しっかりと整理運動を行わせる。</p> <p><input type="checkbox"/>生徒の健康について観察・確認を行う。</p>